



少年形競技会で快挙!

会員の大会では東海東部が準優勝

第21回日整全国少年柔道大会・第36回日整全国柔道大会
第2回日整全国少年柔道形競技会



見事な技を披露し、愛知県や東海東部の柔道のレベルの高さを証明する大会となった。

10月8日(体育の日)、東京講道館で行われた日整全国柔道大会の少年形競技会で愛知県ペアが初出場初優勝の快挙を成しとげた。

また、会員の大会では東海東部が準優勝を果たし、決勝戦前の形の演武では4組のうち本会会員が2組、

全国少年柔道大会・形競技会

少年の大会は大道場4試合場で、全国から集まった48チームによるトーナメント戦で行われた。

9時からの開会式では、萩原正・日整会長が「五輪選手に負けず、日ごろ鍛錬してきた技と精神力を遺憾なく発揮して力いっぱい悔いのない試合をしてほしい。友情の輪を広げて、素晴らしい思い出をたくさん作ってください。そしてこれからの日本を担う、誇りと自信ある大人に成長することを期待している」と挨拶。

羽田野剛監督率いる愛知県チームは1回戦で徳島と対戦。大将の大石由君が1勝するも、善戦及ばず1対2で初戦敗退という残念な結果に終わった。

国際部道場で同時に行われた第2回の形競技会には、去年は東海東部から静岡県が代表で出場したが今回は愛知県が当番県として出場した。県の競技会で優勝した斉藤龍之介(取・小6)・萩田裕次郎(受・小6)の半田支部ペアは、15チーム中4番目で出場。約10か月間週2・3回の練習で培ってきた技を披露し見事優勝を果たした。

武豊少年柔道教室の代表を務め、ふたりを保育園年長時代から指導している監督の森正仁会員(半田)は、自身何度か日整形講習会に参加している。その誇りを懸けて獲得した優勝に、「本当に嬉しいです。同時に無事終わってホッとしています。子どもたちの努力やご両親のサポート、多くの先生方の助言や激励など、すべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです」と感想を寄せてくれた。

来年度は静岡県と代表選考会を行なうことも検討されている。半田支部は予選会があり、それを勝ち抜くこと自体が大変なレベルの高い地域である。「支部予選での敗退も考えられる。来年に向けてただただ練習の積み重ねあるのみ」と、森会員の視線はすでに来年の戦いに向いている。

全国柔道大会

午後1時30分から行われた会員の大会は、全国16チームが参加して行われた。一瀬誠監督(静岡県柔道部長)率いる東海東部チームは、岩澤勇治(副将・四段)・吉田卓実(中堅・四段)・梶谷宗亮(次鋒・三段)・一瀬克紘(先鋒・四段)の静岡県の4選手が占めるなか、本会から石田雅明七段が大将として出場した。

1回戦は一昨年同様皮肉にも東海西部とあたったが、戦いにくいなか2対0で勝利し幸先の良いスタートを切った。2回戦では近畿ブロックと対戦。2対2の代表戦で勝利し、続く準決勝では東京Bチームを2対1で撃破。決勝戦の相手は昨年準優勝の強豪・北信越西部。1対2で惜敗し涙を飲んだ。

石田選手は大会を通じて大活躍、大将の仕事を見事に果たした。特に、1対2で迎えた大将戦で一瞬の隙をついて一本背負いで追いついた2回戦の対近畿戦は、石田選手の活躍がなければ代表戦での勝利がなかった試合であった。

去年は第3位、今年は準優勝という見事な結果に、東海ブロック会長でもある永田官久・静岡県会長からは、選手の労をねぎらうとともに「来年はさらに上を目指してほしい」と激励のことばがおくられた。

決勝戦前の形の演武では、青木保宏(取・五段・笠寺)と榎本好根(受・六段・大曾根)が柔の形を、春日井和幸(取・五段・大曾根)と中村太(受・六段・大曾根)が古式の形を披露した。また黒氏憲会員(一宮)が大会10回出場の特別功労表彰を受けた。相羽秀昭(半田)会員も審判として参加した。

なお、相羽会員と榎本会員は日整形講習会に5回連続で参加した功労により表彰を受けた。

【大会成績】

- ◎少年大会 優勝 茨城、準優勝 神奈川、第3位 京都・大阪
- ◎形競技会 優勝 東海東部(愛知)、準優勝 四国(香川)、第3位 東海西部(三重)・中国(岡山)
- ◎会員大会 優勝 北信越西部、準優勝 東海東部、第3位 東京A・東京B



日整学術講習会・生涯学習講習会

10月7日(日)、12時30分から4時30分まで、日整会館講堂で平成24年度の学術講習会・生涯学習講習会が下記の要領で開催された。

1. 特別講演 「100歳まで歩ける!クノンボールエクササイズ」
久野信彦先生(愛知県柔道整復師会)
2. 生涯学習活動報告
3. 全国ボランティア活動報告

「平成23年度の大阪府におけるボランティア活動等について」

川口靖夫先生(大阪府柔道整復師会)

4. 学術講習会 富山大学寄附講座報告
「接骨院・整骨院での痛みの治療」～痛みを少なくし、元気に生活する～
富山大学大学院教授 西条寿夫先生



今回、本会の久野信彦会員(笠寺)が特別講演の講師に招かれ、故蟹江きんさんとのエピソードを交えながら、自身で開発した機能訓練用具の効能と使い方について講演。富山大学大学院教授の西条先生は、去年のこの講習会で紹介した基礎研究と臨床研究を踏まえて得られた成果をもとに、「痛みと柔道整復後療法」と題して詳述された。

最後に西条先生は、この度の研究により柔道整復学が27番目の「学問」として大学評価学位授与機構に承認されることになったというサプライズを紹介された。

介護予防・機能訓練指導員認定講習会を開催

9月22日(土・祝)・23日(日)の二日間にわたり、本県で7回目となる介護予防・機能訓練指導員認定柔道整復講習会が開催された。

講師にはお馴染みの芳賀脩光・筑波大学名誉教授と、日整介護対策課から三谷菅部員(一宮)があたり、東海4県のほか京都や岡山からも参加した総勢69名が、両日間合わせて470分という長時間に及ぶ講義を熱心に聴講した。

本県の参加者は55名で、勤務・家族柔道整復師が26名と約半数に上った。

過去6回分の本県・他県すべての聴講者合わせてのべ1115名となった。

